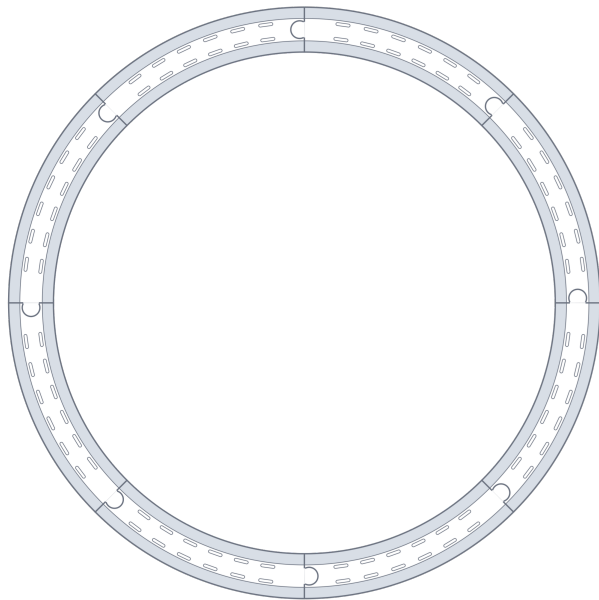


最初の準備

円の線路をつくろう

曲がったレール8本を、図のようにつなぎます。



3人全員が、走らせる・止めるを試そう

1人が終わったら本体を止め、
同じ場所から次の人が試します。
まずは本体だけを使います。

本体やレールは、大切に扱おう。

本体の使い方

ボタンを見つけて、動かそう



① 電源を入れる

ボタンを約2秒間、長押しします。音が鳴り、
ライトが点灯したままになれば、準備完了です。

② 走らせる

ボタンを1回、短く押すと、前に走り出します。
線路に沿って本体を軽く押しても走り出します。
後ろへ押すと、そのまま後ろ向きに走ります。

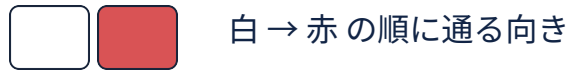
③ 止める

ボタンを1回、短く押すと止まります。
本体を持ち上げても止まります。

スナップの使い方

色の部品で、動きを伝えよう

色の組み合わせが「コマンド（合図）」です。
本体が進む向きに、白から順に読みます。



- ① 本体を止めてから付ける。
- ② 穴を飛ばさず、続けて付ける。
- ③ 1つのコマンドは、1本のレールに付ける。

レールのつなぎ目は、またぎません。

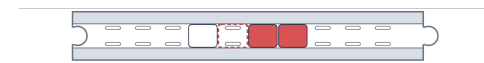
○ 続けて付ける



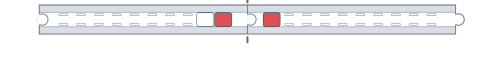
× 逆の順番



× 間が空いている



× つなぎ目をまたぐ

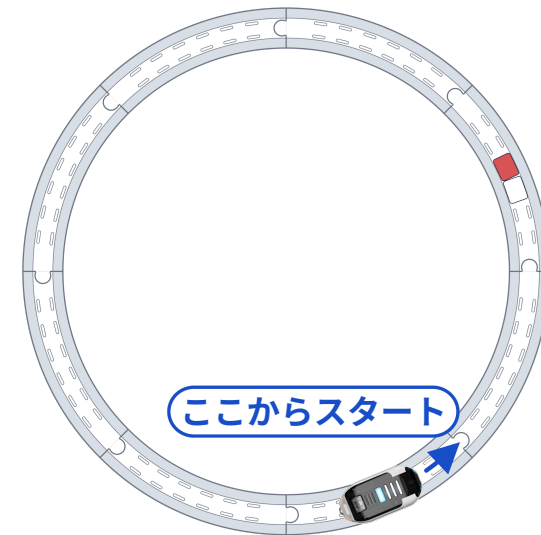


別のコマンドとの間は、スナップ1～2個分空けます。
近すぎると、うまく読めないことがあります。

はじめの実験

2つの止まり方を比べよう

図の白・赤を付け、動きを予想して走らせよう。



① 白 → 赤

3人で予想してから、走らせて確かめよう。

② 白 → 赤 → 青

本体を止め、赤の次に青を1枚足そう。
もう一度予想して走らせ、①と②を比べよう。

次へ進む前に：本体を止め、白・赤・青を外そう。
円の線路は、そのまま使います。

チームの準備

A・B・Cを決めよう

A・B・Cは、3人それぞれの呼び名です。
自分のA・B・Cは、最後まで変わりません。
練習ごとに、やることを交代します。

	線路・文字	スナップ	車両
練習1	A	B	C
練習2	B	C	A
練習3	C	A	B

☐ だれがA・B・Cになるか決めた

文字を読むルール

途中の文字：止まって読み、また走る。

最後の文字：止まって読み、そこでおしまい。

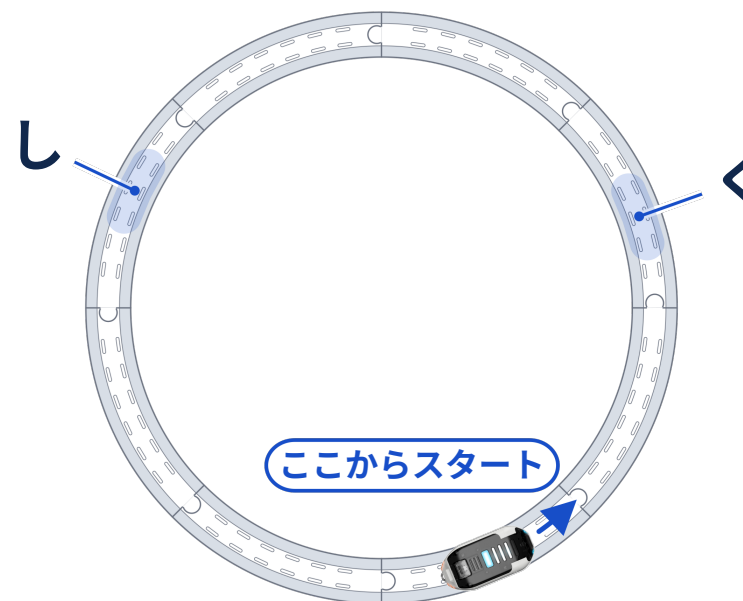
通り過ぎた文字：読みません。

止まった文字を、みんなで順番に声に出そう。

練習1

「くし」になるように走らせよう

Aの人が「く」「し」を図の線の先の、
レールの横に置こう。



B：スナップを選んで付ける。

C：図の場所・向きから走らせる。

「く」で止まってまた走り、
最後の「し」で止まったら成功！

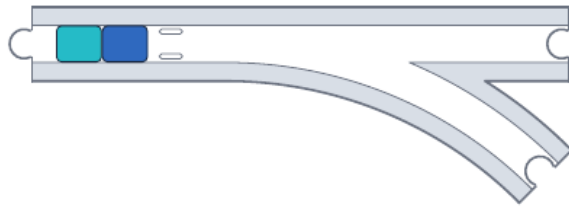
次へ進む前に：本体を止め、スナップと文字を外そう。

練習2の準備

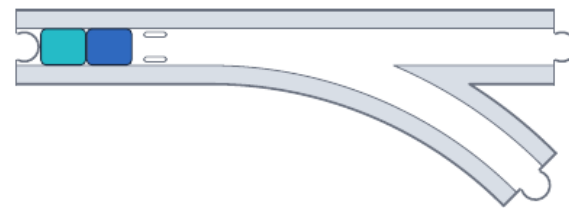
分岐レールを見分けよう

スナップ側が「出っぱり」と「へこみ」の2種類を、1本ずつ使います。

出っぱり



へこみ



青い面と赤い面は、同じレールの表と裏です。

レールの形と、スナップ側のつなぎ目を確かめてから組み立てよう。

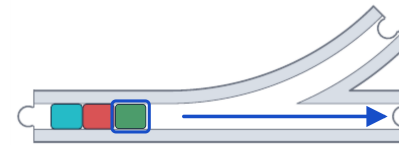
分岐の使い方

3枚目で、進む道が決まる

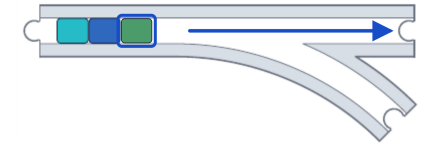
最初から付いている2枚は、外せません。
青い枠の場所に、3枚目を1枚だけ付けます。

まっすぐ：3枚目は緑

赤い面

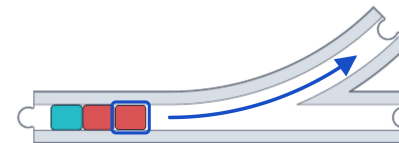


青い面

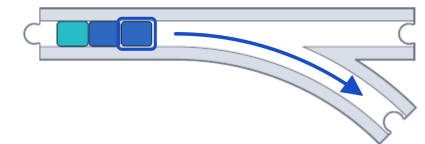


曲がる：3枚目は、その面と同じ色

赤い面



青い面



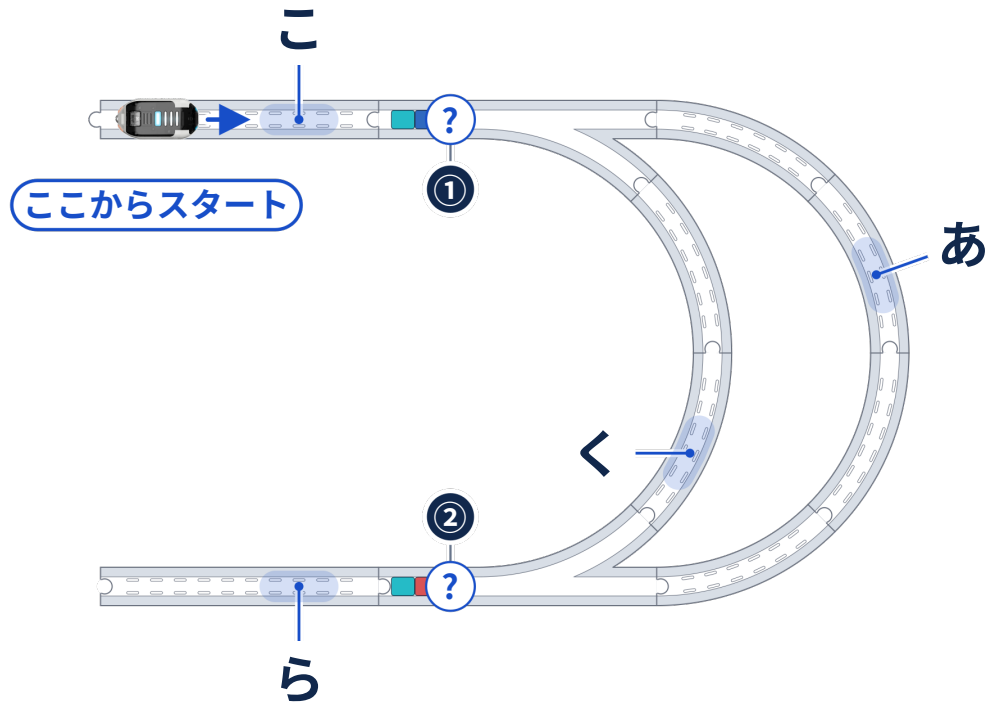
本体が入る向きも、図で確かめよう。
コマンドの一覧は9ページにあります。

練習2

「こあら」になるように、動かしてみよう

① Bの人が線路を組み、文字を図の場所に置こう。

曲がったレール6本・まっすぐなレール2本・分岐レール2本（出っぱり1本、へこみ1本）



② Cの人が付ける

止まる場所と、分岐の3枚目を3人で考えよう。

③ Aの人が走らせる

図の「ここからスタート」と同じ場所・向きに置こう。

④ みんなで確認

途中の文字で止まって、また走る。
最後の文字で、止まっておしまい。
止まった文字だけを読もう。

分岐①は「あ」の道へ。

②にも3枚目が必要かな？

線路の端から出そうなときは、
ボタンで止めよう。

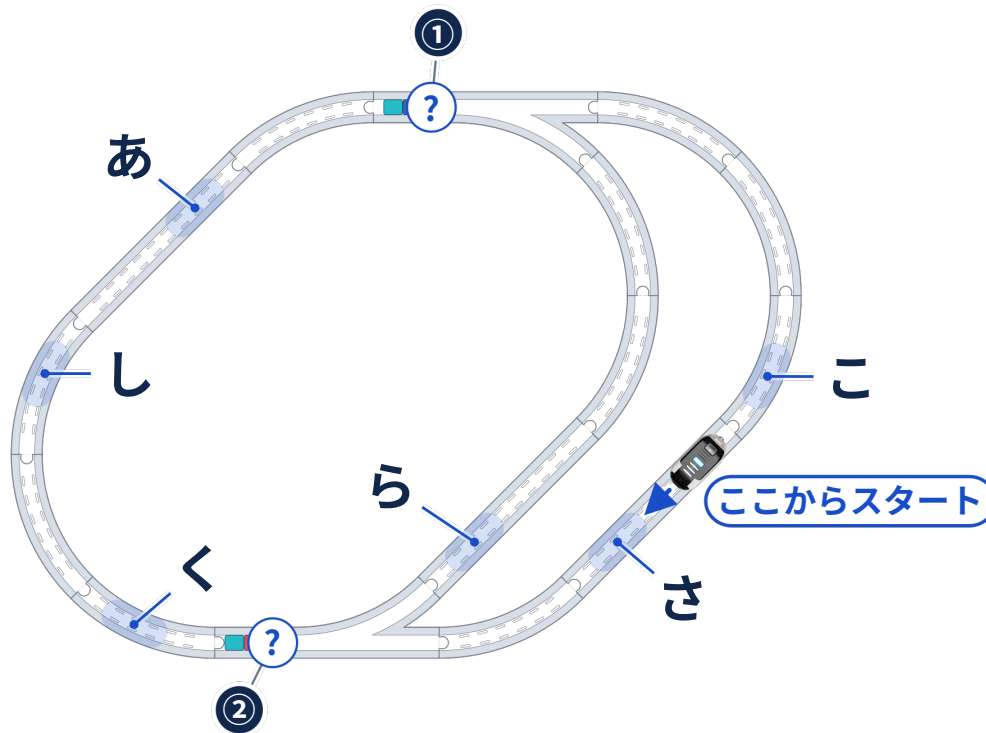
次へ進む前に：本体を止め、自分たちで付けたスナップと文字を外そう。分岐の最初の2枚は残します。

練習3

「さくら」になるように、動かしてみよう

① Cの人が線路を組み、文字を図の場所に置こう。

曲がったレール10本・まっすぐなレール3本・分岐レール2本（出っぱり1本、へこみ1本）



② Aの人が付ける

止まる場所と、分岐の3枚目を3人で考えよう。

③ Bの人が走らせる

図の「ここからスタート」と同じ場所・向きに置こう。

④ みんなで確認

途中の文字で止まって、また走る。
最後の文字で、止まっておしまい。
止まった文字だけを読もう。

「さ → く → ら」の道を、
先に指でたどろう。
通った文字すべてで、
止まる必要はありません。

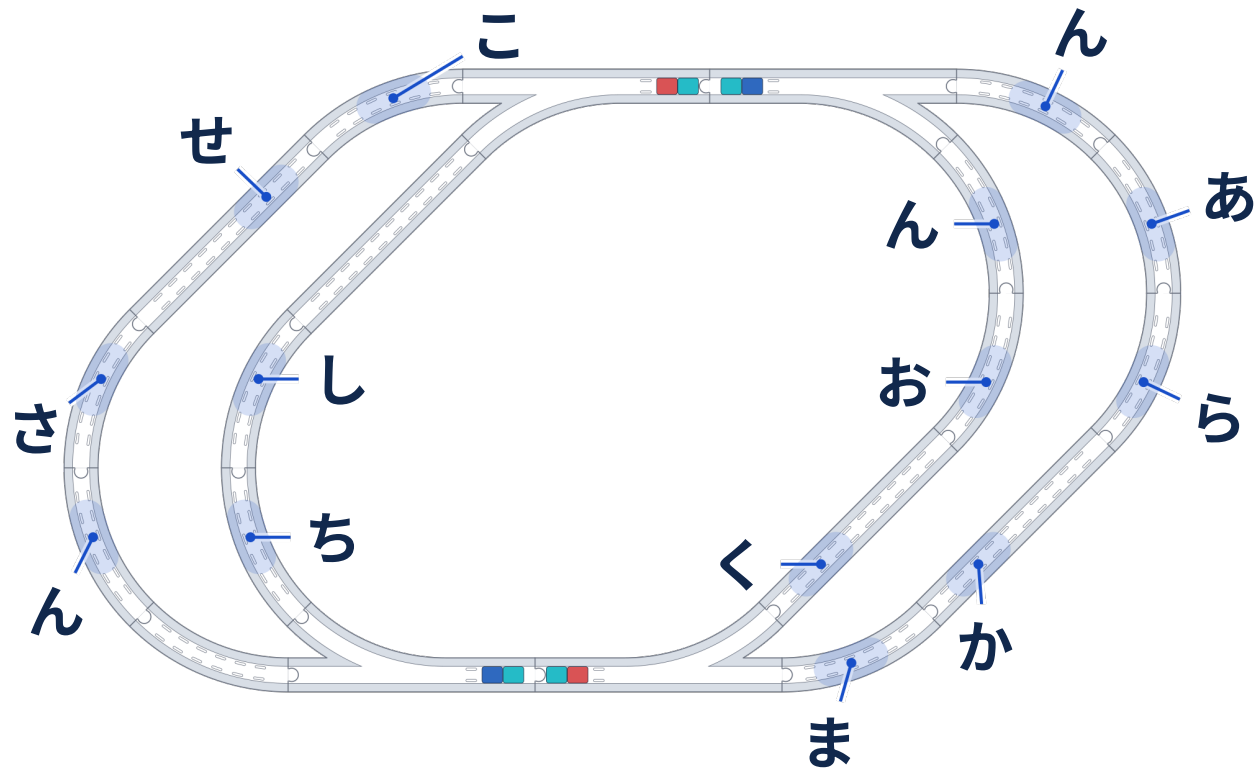
次へ進む前に：本体を止め、自分たちで付けたスナップを外そう。使った6枚と残りの8枚の文字を集めよう。

本番の準備

大きな線路と、14枚のひらがな

曲がったレール12本・まっすぐなレール4本・分岐レール4本（出っぱり2本、へこみ2本）

文字カードは、置いたら動かさない。



図と同じ線路をつくり、14枚の文字をレールの横に置こう。出発する場所と向きは自由です。

本番

いちばん長いことばを走らせよう

走ってできた、1つのことばの文字数で勝負！

文字カードは動かさないよ。

① ことばを決める

7ページの図の文字を、指でたどろう。

② 道とスナップを決める

出発する場所と向きは自由です。
スナップを全部付けてから走らせよう。

③ 走らせる

止まった文字だけを、順番に読もう。
途中の文字で止まってまた走り、
最後の文字で、止まっておしまい。

同じ場所の文字も、止まるたびに使えます。
走行中は、手を出しません。

成功したら、もっと長いことばに挑戦しよう。

発表会

つくったことばを見せ合おう

スタッフの合図で本体を止め、
各チームのことばを聞こう。

① 各チーム、ひと言ずつ

つくったことばと、何文字だったかを伝えよう。

② いちばん長いチームの線路へ

「どのことば？」「どこを工夫した？」を聞き、
実際に走るところを、みんなで見よう。
同じ文字数なら、どちらも発表します。

③ 最後は、みんなで拍手！

うまくいかなかったときに変えたことも、
話してみよう。

発表が終わったら、10ページを見て、
電源と部品の数を確認して片付けよう。

コマンドシート

止め方・向き・速さ

本体が進む順に、白から読みます。

止まって、また走る



途中の文字

ここで止まる



最後の文字

走る向きを逆にする



低速



中速



高速



紫のスナップは使いません。

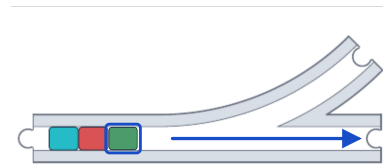
コマンドシート

分岐：3枚目を付け替える

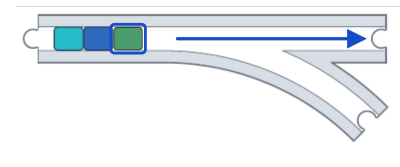
最初から付いている2枚は、外せません。

まっすぐ：3枚目は緑

赤い面

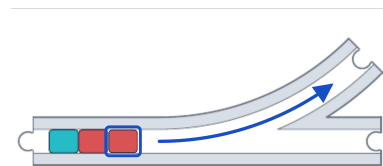


青い面

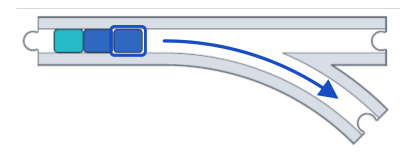


曲がる：3枚目は、その面と同じ色

赤い面

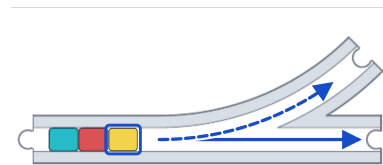


青い面

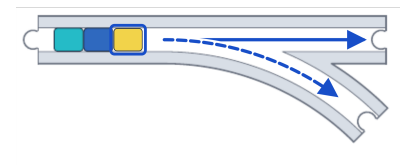


交互に進む：3枚目は黄色

赤い面



青い面



通るたびに、まっすぐ・曲がるが入れ替わります。

片付け

電源を切って、数を確かめよう

① 本体を止めて、電源を切る

上のボタンを約2秒間、長押しします。
ライトが消えたか確かめよう。

② 自分たちで付けたスナップを外す

分岐の3枚目も、付けた場合は外そう。
最初から付いている2枚は、外せません。

③ 1チーム分ずつ、数を確認する

使わなかった部品も集めて数えよう。
充電用のケーブルも、配られていたら
一緒に確認します。

しまう前にチェック

- ☐ 電源を切った
- ☐ 取り付けたスナップを外して、
すべての部品があることを確認した

足りない部品は、スタッフに知らせよう。
そろってから、ケースにしまいます。

1チーム分の数

スナップとレールを数えよう

分岐に最初から付いている2枚ずつは、
下の枚数に入れません。



白 10枚



緑 8枚



赤 8枚



青 6枚



黄 4枚



紫 4枚

レール：全部で20本



曲がったレール 12本



まっすぐなレール 4本



分岐・出っぱり 2本



分岐・へこみ 2本